

暮らしの、新たな原動力へ。



2025年3月期 決算概要

目次

I. 2025年3月期 決算概要

II. 2026年3月期 業績予想

III. 中長期経営計画の取り組み

“Creating New Value for the Future”1stステージ

IV. 参考資料

I . 2025年3月期 決算概要

2025年3月期 決算ハイライト

(単位：百万円、%)

	2024/3	2025/3			
	実績	実績	前期比	業績予想値	達成率 (対業績予想値)
売上収益	108,278	115,593	+7,314	110,000	105.1%
コア営業利益	7,584	7,743	+159	7,000	110.6%
営業利益	7,772	3,480	△4,292	7,500	46.4%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	6,180	1,496	△4,683	5,000	29.9%
ROE	7.6%	1.8%	△5.8ppt	-	-
USD	145.31	152.57	-	145.00	-
為替レート THB	4.12	4.40	-	4.10	-
人民元	20.21	21.13	-	20.00	-

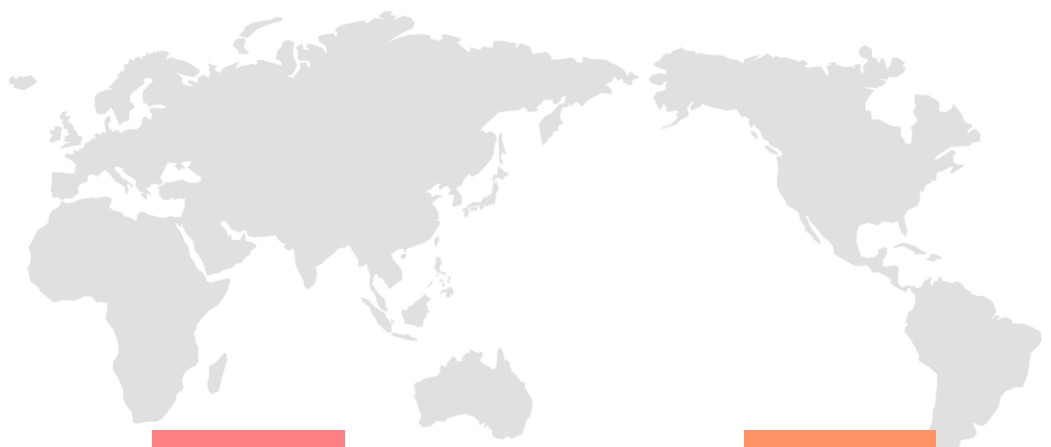
- ・売上収益およびコア営業利益は過去最高を記録
- ・減損損失等の計上により、営業利益および親会社の所有者に帰属する当期利益は減益

当年度に計上した主な損失の業績影響とその要因

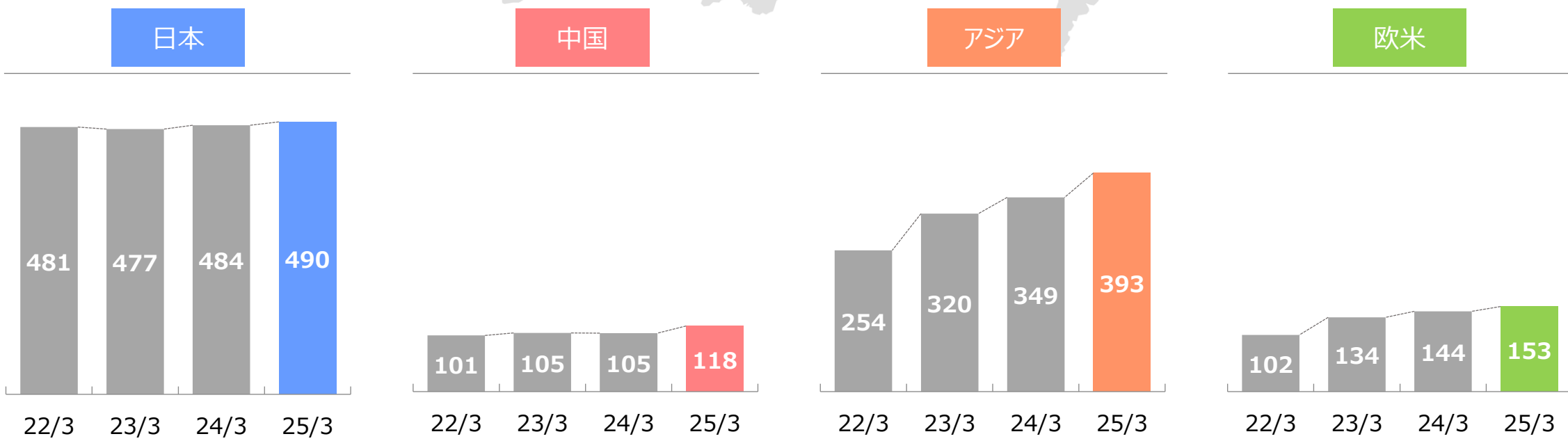
(単位：百万円)

	のれんの減損損失 (Aimedic MMT)	高機能エラストマー製品 事業の減損損失	米国子会社生産終了 に伴う損失	合計
営業利益	△3,406	△1,604	△1,117	△6,127
要因	米国食品医薬品局（FDA）の承認時期の遅延等に伴い、事業計画の見直しを実施	- ペーパーレス化の影響により、OA機器向け製品の販売数量が減少 - 原材料価格等のコストの上昇により収益性が低下	- 米国内のインフレに伴う賃金の上昇等により、採算が悪化 - 生産終了の決定に伴い、減損損失等を計上	

2025年3月期 所在地別売上収益



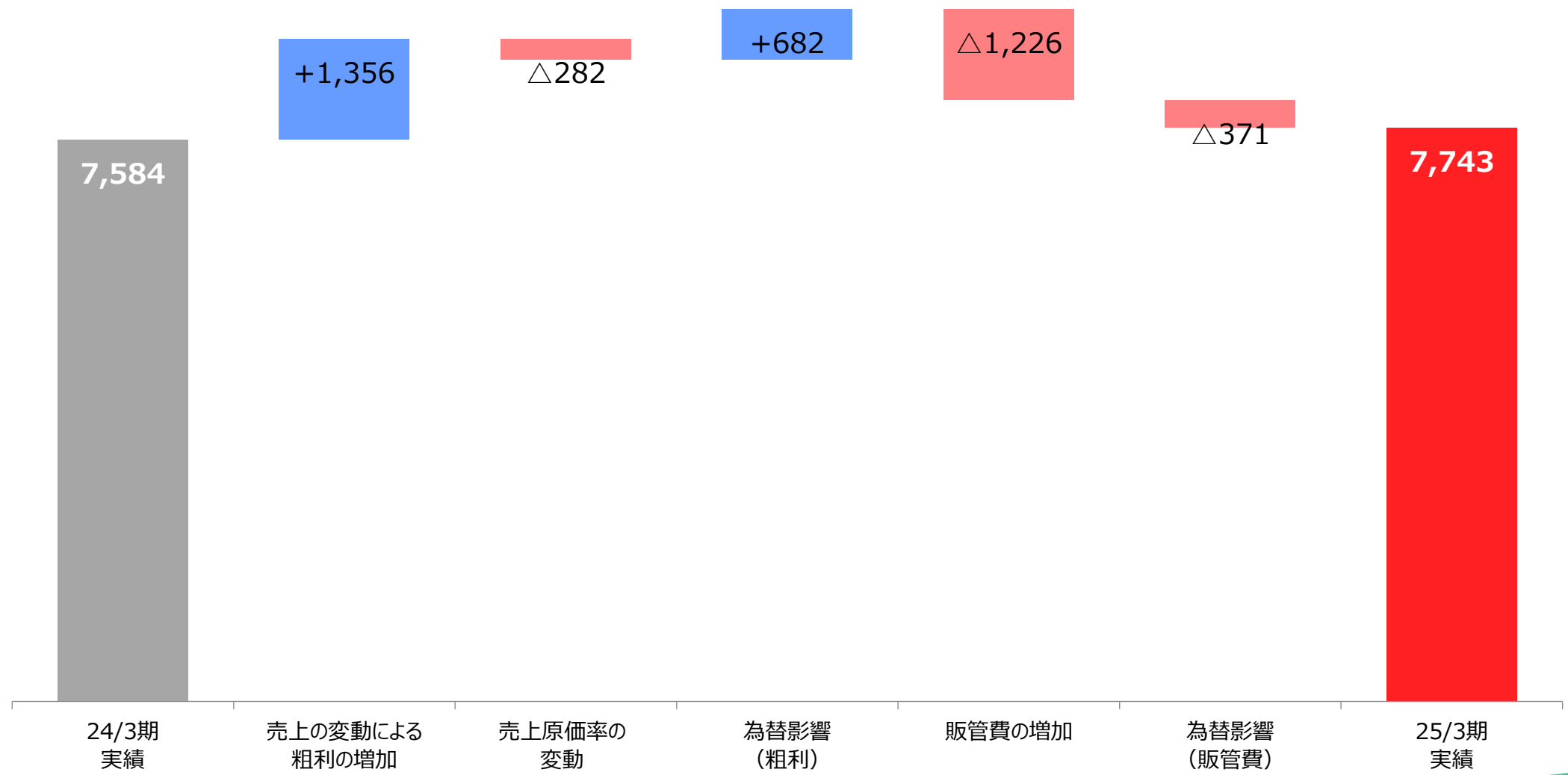
(単位：億円)



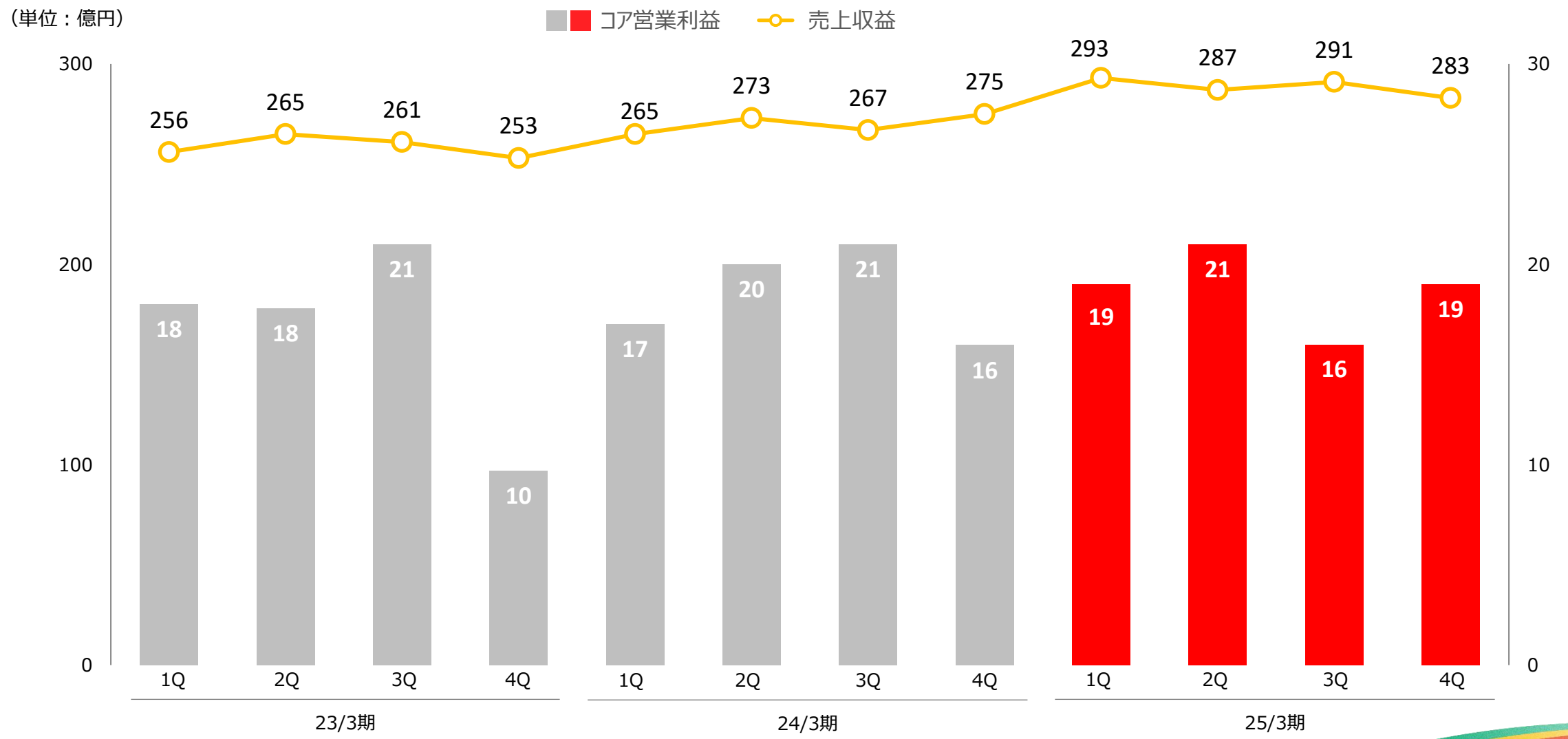
(注)所在地別売上収益はセグメント間取引消去後。

2025年3月期 連結コア営業利益 増減分析

(単位：百万円)



四半期推移（売上収益/コア営業利益）



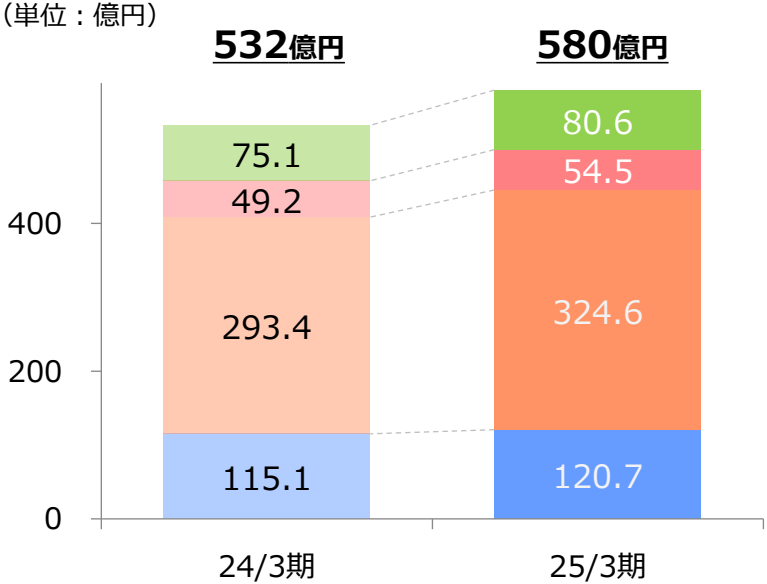
2025年3月期 セグメントの状況

(単位：百万円)

	2024/3	2025/3		
	実績	実績	増減額	増減割合
売上収益	108,278	115,593	+7,314	+6.8%
自動車部品事業	53,282	58,056	+4,773	+9.0%
産業資材事業	36,672	38,100	+1,427	+3.9%
高機能エラストマー製品事業	13,769	14,216	+446	+3.2%
その他	5,352	6,095	+743	+13.9%
セグメント間消去	△798	△875	△76	-
コア営業利益	7,584	7,743	+159	+2.1%
自動車部品事業	4,111	4,897	+785	+19.1%
産業資材事業	3,492	2,541	△951	△27.2%
高機能エラストマー製品事業	△151	△15	+136	-
その他	73	296	+223	+306.2%
セグメント間消去等	57	23	△34	△59.9%

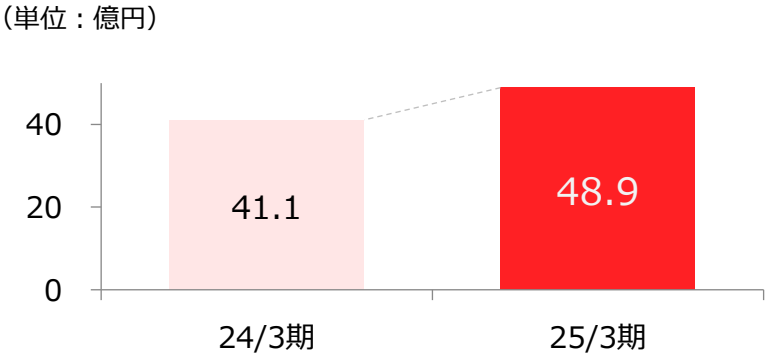
自動車部品事業 概要

所在地別売上収益



欧米他	+7.4%	■ 米国において補修市場向け製品の販売が増加。
中国	+10.8%	■ 二輪車用変速ベルトの販売が増加。
アジア	+10.7%	■ 二輪車用変速ベルトの販売が増加。
日本	+4.9%	■ 自動車生産台数が減少するも、当社製品採用車種の増加により、補機駆動用伝動ベルトと伝動システム製品の販売が増加。

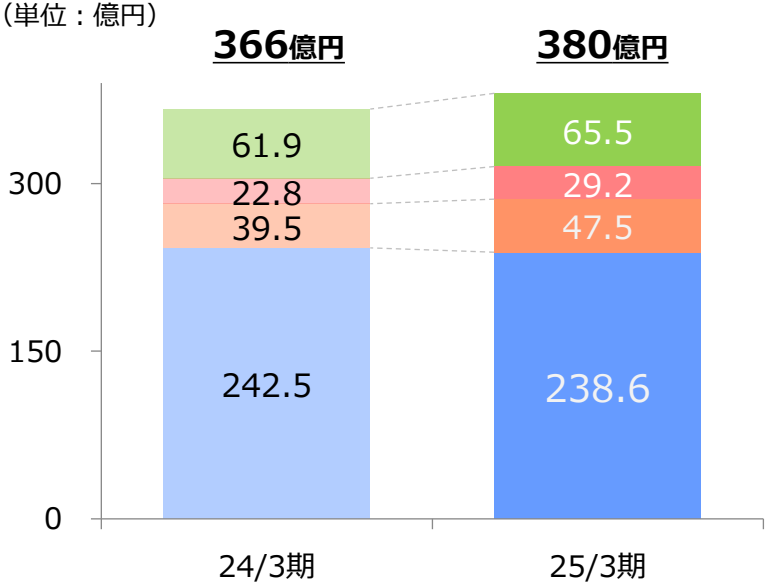
コア営業利益



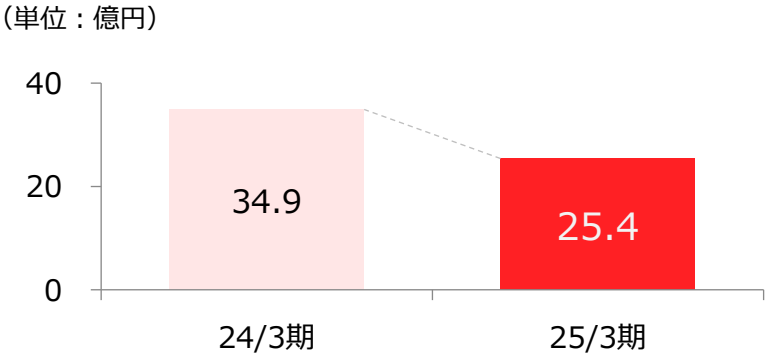
コア営業利益	+19.1%	■ 販売の増加により、利益が増加。
--------	--------	-------------------

(注)所在地別売上収益はセグメント間取引消去後。

所在地別売上収益



コア営業利益



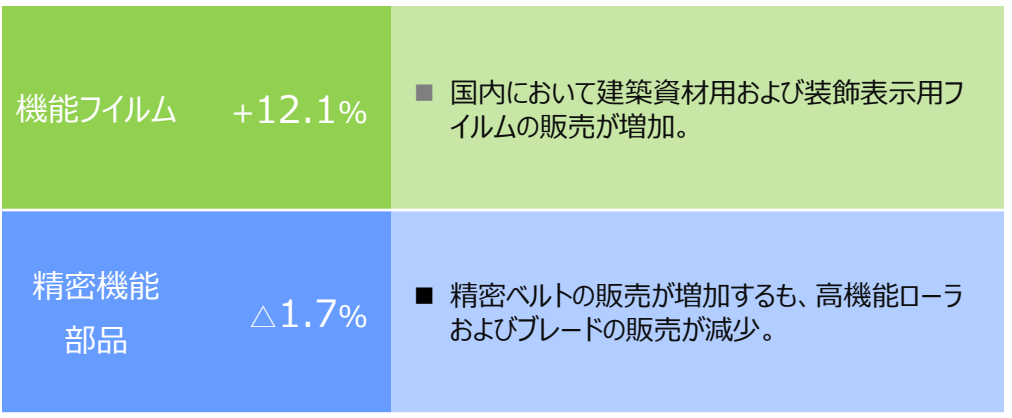
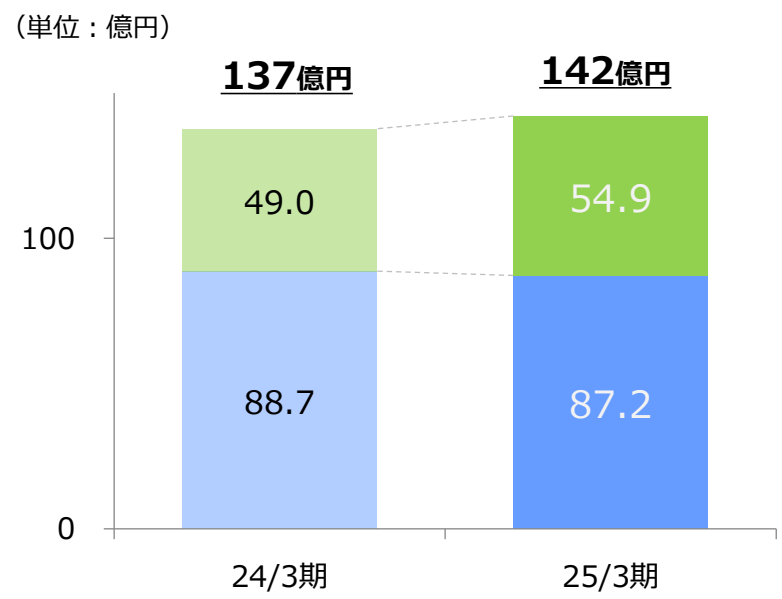
欧米他	+5.8%	産業機械用伝動ベルトなどの販売が増加。
中国	+28.4%	農業機械用伝動ベルトなどの販売が増加。
アジア	+20.5%	農業機械用伝動ベルトなどの販売が増加。
日本	△1.6%	産業機械用伝動ベルトの販売が前年並みに推移。 樹脂コンベヤベルトの販売が増加するも、コンベヤベルトの販売が減少。

コア営業利益	△27.2%	販売は増加するも、製品構成の変化や原材料価格等のコスト増により、利益が減少。
--------	--------	--

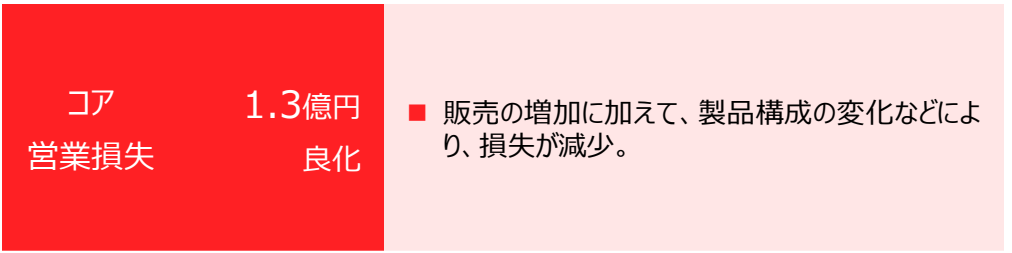
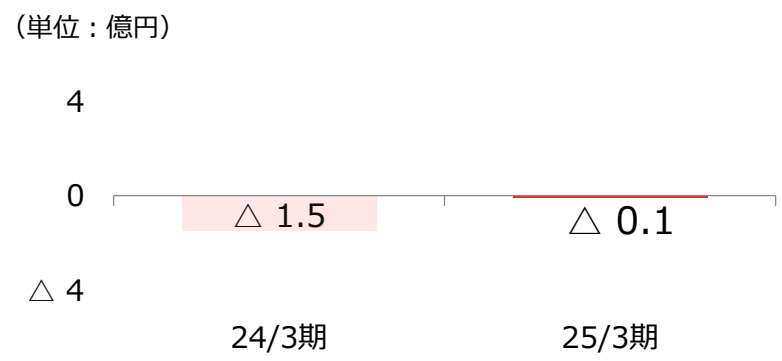
(注)所在地別売上収益はセグメント間取引消去後。

高機能エラストマー製品事業 概要

製品別売上収益



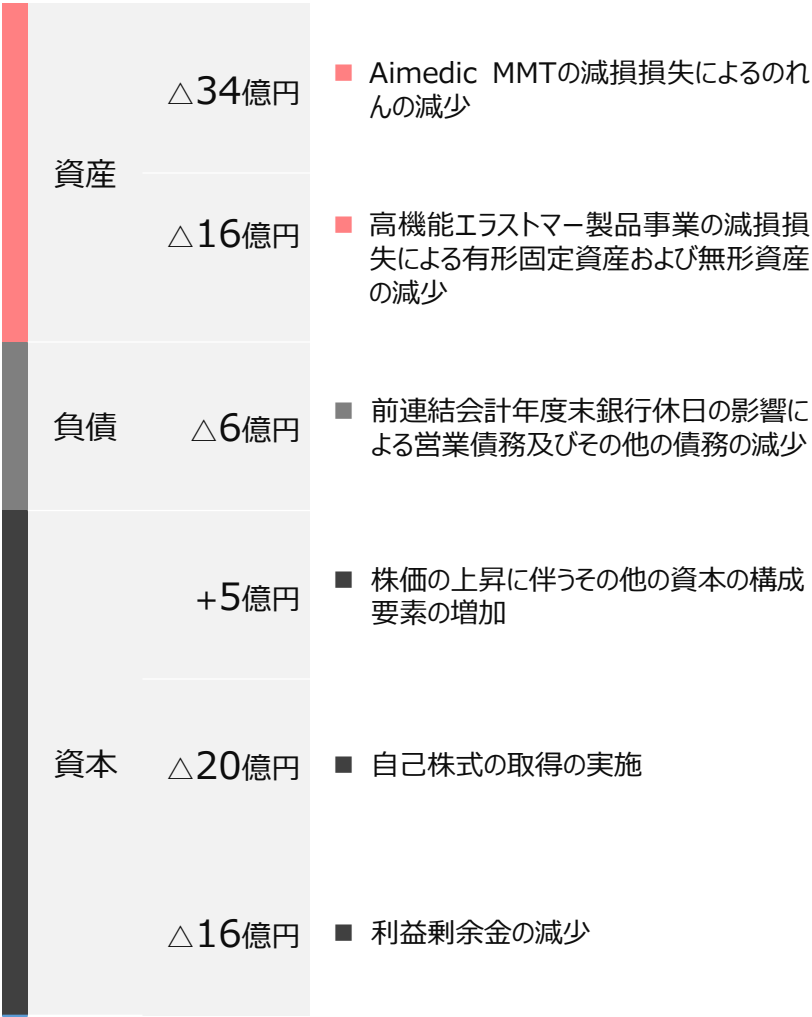
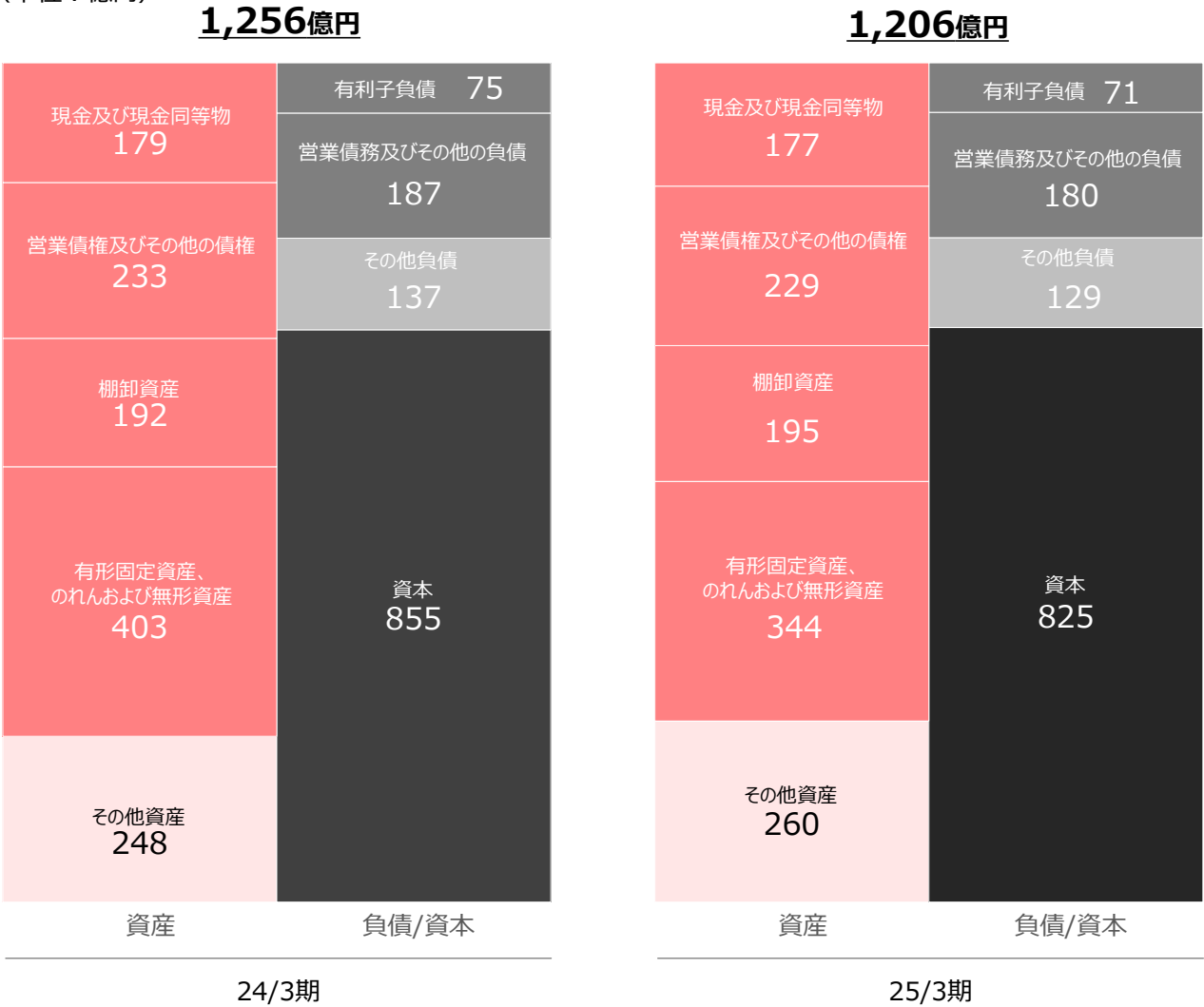
コア営業損失



(注)製品別売上収益はセグメント間取引消去後。

連結財政状態計算書

(単位：億円)



Ⅱ． 2026年3月期 業績予想

2026年3月期 業績予想

(単位：百万円、%)

	2025/3	2026/3		
	実績	予想	前期比	
売上収益	115,593	115,000	△593	△0.5%
コア営業利益	7,743	8,200	+456	+5.9%
営業利益	3,480	9,500	+6,019	+172.9%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,496	6,700	+5,203	+347.7%
設備投資	5,992	7,200	+1,207	+20.1%
減価償却費	5,818	5,600	△218	△3.8%
研究開発費	4,259	4,200	△59	△1.4%
為替レート	U S D	140.00	-	-
	T H B	4.00	-	-
	人 民 元	19.50	-	-

Ⅲ. 中長期経営計画の取り組み

“Creating New Value for the Future”1stステージ

中長計(Creating New Value for the Future)の全体像

FY2023 ← CV-1 → FY2026 FY2027 ← CV-2 → FY2030 FY2050

人と社会を支え、今と未来をつなぐBEST PARTNER

『Creating New Value for the Future』

ビジョン

共創 新規事業
コア事業

中長期戦略

指針1

価値創造

「共創」を軸に新規事業の進化とコア事業の深化を加速

指針2

スマートものづくり創造

バンドー夢工場への布石

指針3

未来に向けた組織能力の進化

進化を支える土壌づくり

価値創造

最適な事業ポートフォリオへ

夢工場モデルラインの実現

安全・安心で地球環境にやさしいものづくり

未来に向けた組織能力の進化

進化が連続的に起こっている

バンドー夢工場のグローバル展開

圧倒的競争優位の実現

中長期目標

売上収益

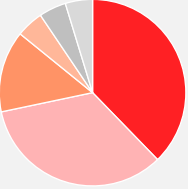
1,200億円

コア営業利益

120億円

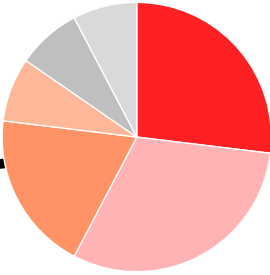
R O E

12%



非財務指標

CO₂排出量 38%削減 (2013年度比)



持続的成長へ

カーボンニュートラルを実現する

収益力の強化に向けた取り組み

事業ポートフォリオの最適化に向けて、新規事業の進化とコア事業の深化を加速させる



収益力の強化に向けた取り組み

中期的な成長戦略

自動車部品事業

パーソナルモビリティ市場への深化

- ・ 2024年11月にInmotive社と戦略的パートナーシップ契約を締結
- ・ 将来的な需要拡大を見据え、同社と共同して電動二輪車/三輪車向け製品の開発を行う



産業資材事業

大型農機市場への拡販

- ・ 重点市場において新規代理店の開拓が進む
- ・ 展示会の開催等、認知度向上に向けた取り組みを推進する



新規事業

医療機器・ヘルスケア機器市場への連続的な上市

- ・ 「C-STRETCH®」を活用した新製品の拡販に継続して取り組み中
- ・ 外部機関との共同研究等により、更なる拡販を目指す



資本効率の向上

基本方針

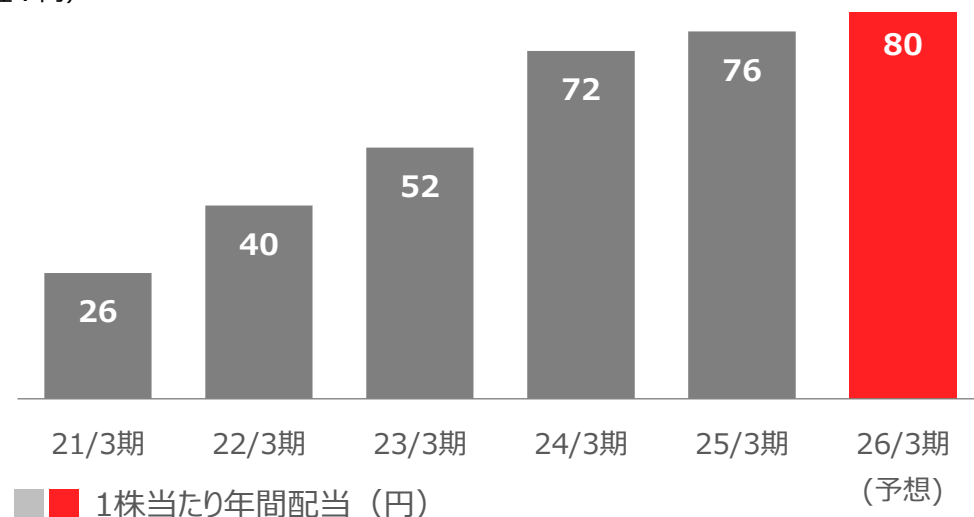
収益および財務状況に配慮しつつ、当面の間、1株当たり年間配当金額26円を下限として、**連結配当性向50%を目途に安定した利益配当**を行うことを目標とし、利益還元の充実に努める。
また、中長期的な投資計画、市場環境および資本の状況などを総合的に勘案し、**機動的な自己株式の取得**を検討する

今期の取り組み

1株当たり年間配当金は80円（前年度比＋4円）を見込む
市場買い付けによる自己株式の取得を決定
（上限株数180万株、上限金額20億円、取得期間 2025/5/16-2026/4/30）

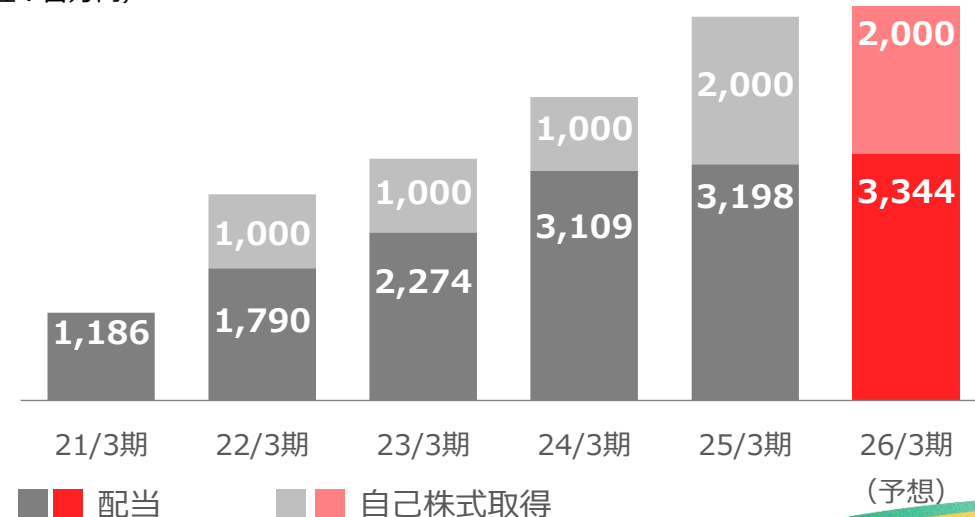
1株当たり年間配当の推移

（単位：円）



株主総還元額の推移

（単位：百万円）



（注）従業員持株ESOP信託および
役員報酬BIP信託への支払配当控除後

安全・安心で地球環境にやさしいものづくり

- 生産工程で生じる廃棄物およびCO₂排出量を低減した製品の開発
- 2026年度までに上市新製品のうち、環境対応製品の占有率50%以上を目指す



CNFを適用した高負荷対応ダブルコグベルト



CO₂排出量 15%以上削減
協働ロボット用ツールチェンジャー「QUICK-CHANGE ATOM®」

気候変動リスクに向き合い、社会の発展に寄与する

- 国内外において太陽光発電システムや省エネ設備等を順次導入
- 2030年度のCO₂削減目標達成を目指し、グループ各社において各種取り組みを実施する

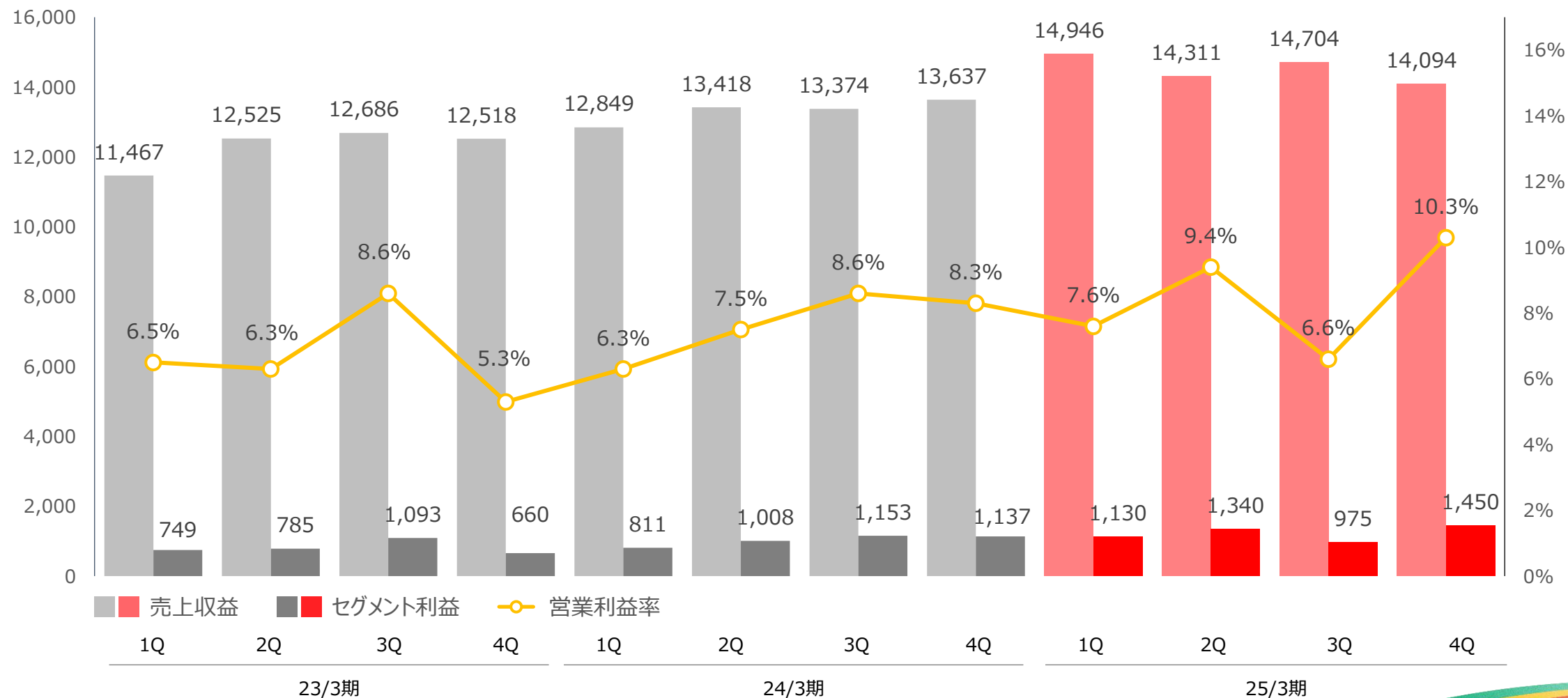


Bando Manufacturing (Thailand) Ltd.

IV. 参考資料

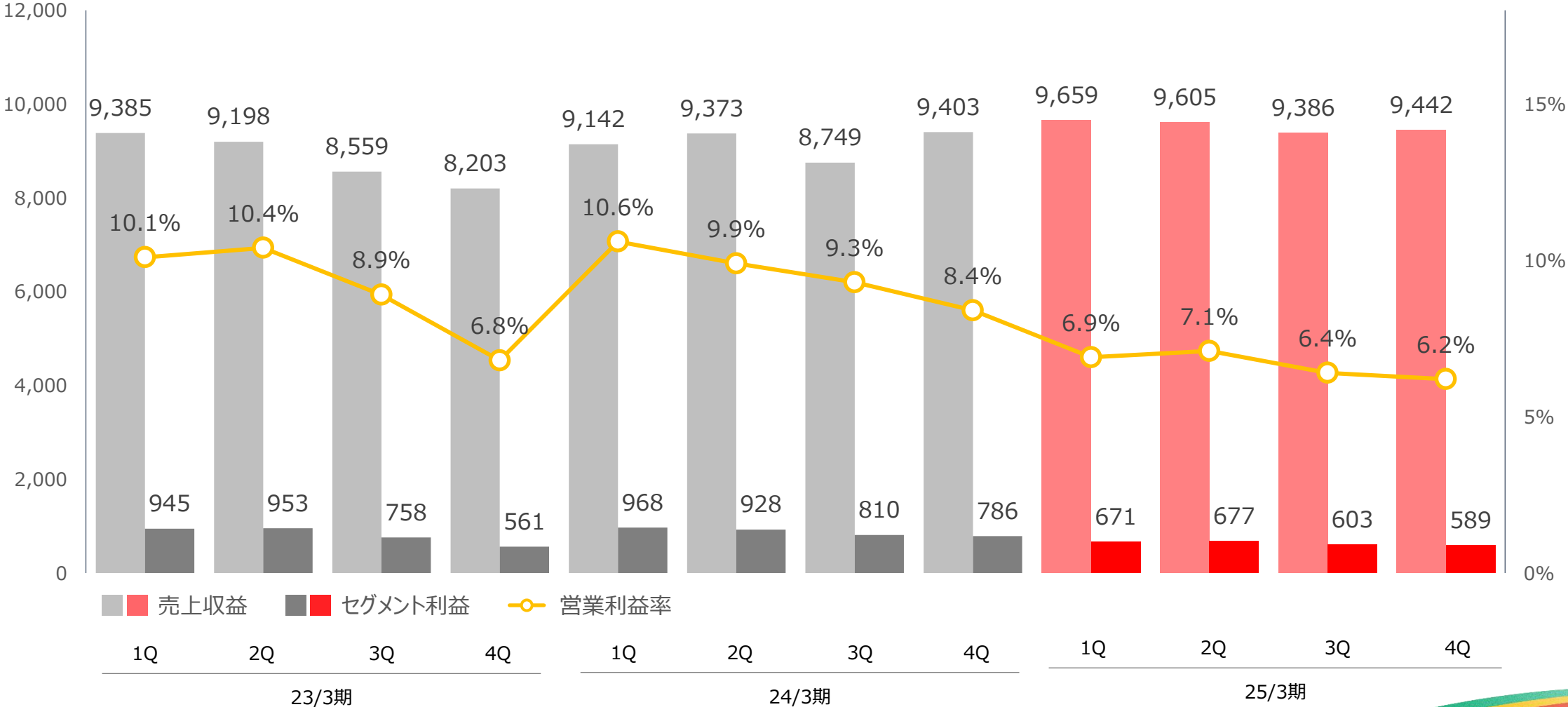
自動車部品事業 四半期推移

(単位：百万円)

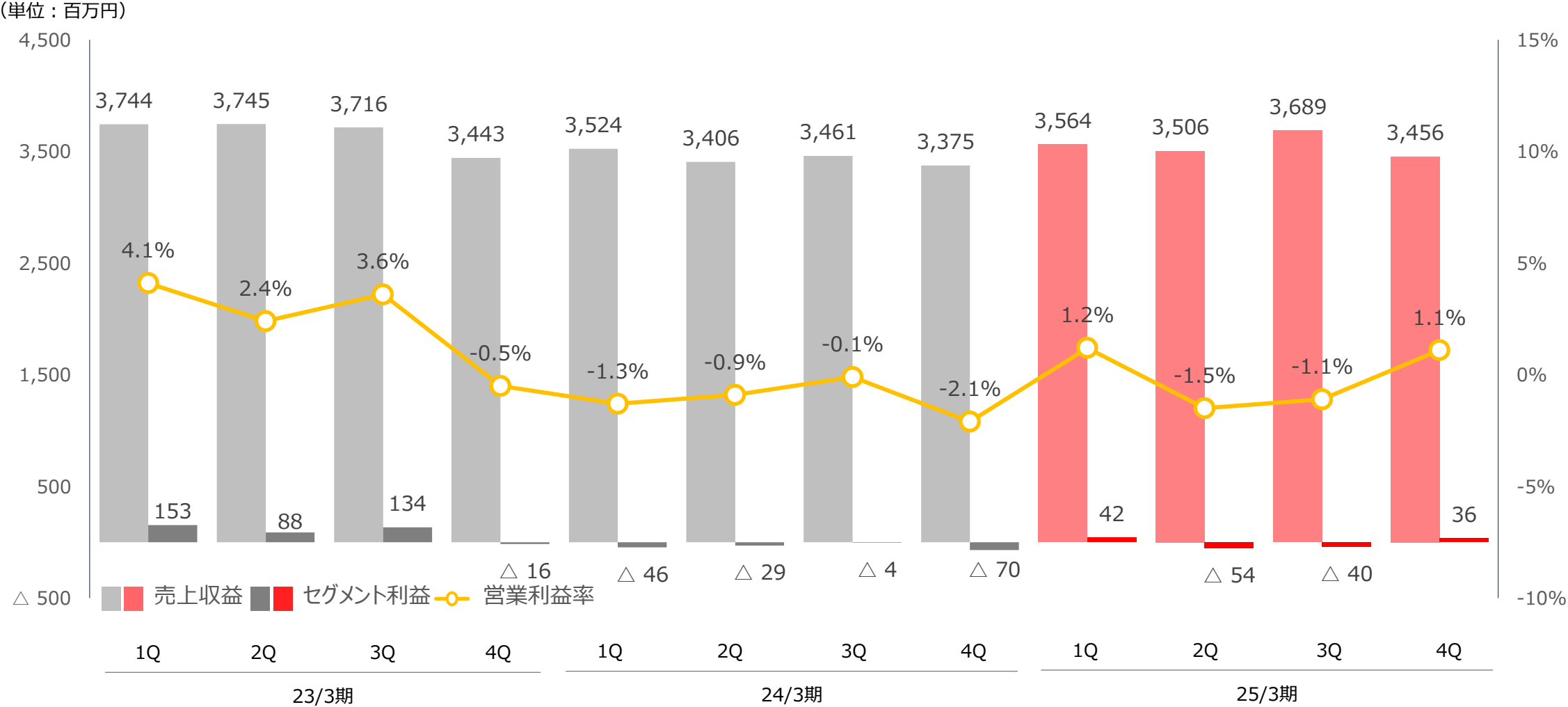


産業資材事業 四半期推移

(単位：百万円)



高機能エラストマー製品事業 四半期推移



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。